

「た…種付けつて…
ま…さか…」

「欲しいだろ赤ちゃん？
帝国人の赤ちゃん
産めるとか属州民として
最高の幸せだよな(笑)」

「い…や…
い…や…やめ…」

「ふっ…ふっ…
一番奥にたっぷり注いでやるからな
ちゃんと孕むんだぞユウナ♡」

「ひッやだやだッ！
止めて止めてええええッ！！」

「ぐお…お…種汁上がってきたッ！
孕めッ孕めユウナッ！！
帝国人のガキ孕んじまえええッ！！」

「嫌いやあああッ！
赤ちゃん嫌あああッ！！」

ずちゅ

ずちゅ

ずちゅ



「ふっ…はあ…
すっげえ射精る…」

ガク

ガク

びん

びん

「…あ…あ…
い…やあ…や…ら…
あ…か…ちゃん…」

「ふいっ…
クロスベルの女は
このネタでハメるのが
最高だな(笑)」

「ういっすお疲れ
この子が話してたユウナちゃん？」

「おっ胸でけえ最高じゃん」

「やべえなマジで俺好み…
ち●ぽバキバキになってきた…ッ」

「…ッ!？」

「憧れの帝国人の赤ちゃん
ちゃんと孕めるよう俺達で
種付けしまくってやるからな
感謝しろよユウナちゃん♡」

ガク

「い…や…い…あ
た…す…け…」

ドク

ドク

ドク

ガク



「数か月後
とある奴隷市場」

「へっ、その巨那♪
クロスベル産の奴隷どうつかうか？
今ならサービスで隣の金髪もつけますぜ」









